

日本の林業の現状と未来

長野県建設労連では、伝統技能を次世代へ継承するため、県や内外関係者とタイアップし、中堅大工を対象とした「信州職人学校・伝統大工コース」を2009年より開講しました。

このコースは、信州の歴史と風土をふまえ、建築大工としての伝統的技量の向上を図るとともに、現代の多様なニーズの中で新たな仕事分野を開拓しうる能力の育成をめざすもので、毎週土曜、半年間の訓練を行ないます。経験に応じ「基礎コース」と「応用コース」を設け、今年度は基礎コース2期生の訓練を実施中です。

この公開講座は、受講生の座学を兼ねて、通常の授業では盛り込めない内容をテーマに、広く一般市民も参加できるオープンセミナーとして、定期的に行なっています。

今回は、木曽地域で植林から製材・建築、デザイン性豊かな木製品の首都圏向け販売などを手掛ける南木曽木材産業㈱の柴原薫氏をお招きし、国内の木材自給率が20%を切り山が荒廃している中で、「今、日本の森林（もり）と環境を守るためには何をすべきか」をテーマに、間伐材を使用した伝統構法による建築実践例などを交えて、木材活用の新たな可能性について語って頂きます。

- 日時：2011年11月12日（土）10：40～12：10
- 会場：建労会館（松本市宮渚本村1-2）
- 受講料：無料 ■ 定員：50名（定員になり次第締切）
- 講師：柴原 薫 氏（南木曽木材産業㈱ 代表取締役）

<http://www.nagiso.co.jp>

【講師プロフィール】

昭和35年、南木曽町生まれ。中央大学商学部卒。現在、南木曽木材産業㈱及び南木曽建設㈱の代表取締役。木曽檜を中心に、木曽地域で植林から建築まで手掛け、伊勢神宮や明治神宮で使われる木材を提供しているほか、デザイン性豊かな木製インテリア・小物を首都圏向けに販売するなど、木材業界における新たな試みに意欲的に取り組む。2005年の伊勢神宮・式年遷宮では、20年に一度のご神木奉納に三ツ紐切りという伝統的技法で伐採を担当。2009年、若田光一氏が搭乗したスペースシャトル「デスクバリー号」に、氏が製作した木曽檜のうちわが搭載され話題に。千葉県市川市に開園した「風の谷保育園」では、新月伐採・天然乾燥の木曽檜と間伐材を提供し、金物等を使用しない伝統構法で建設された施設は、新たな木材の活用法として全国から注目されている。〈活動〉南木曽町林業研究クラブ前会長、長野県地球温暖化防止活動推進員、NPO 新月の木国際協会会員、伝統木構造の会会員、他多数。

風の谷保育園（市川市）



「木曽ひのき、宇宙へ」



- 申込方法：別紙申込用紙により11月9日（水）までにFAXにてお申込下さい。
- 主催（申込・問合せ）：長野県建設労連 伝統建築技能継承事業運営委員会
〒390-0864 松本市宮渚本村 1-2 建労会館 長野県建設労働組合連合会
TEL0263 (39) 7200 FAX0263 (39) 7202 [担当：宮川、矢ヶ崎、吉田]

FAX 0263-39-7202

長野県建設労働組合連合会／伝統建築技能継承事業運営委員会宛
担当／宮川、矢ヶ崎、吉田

信州職人学校第14回公開講座 受講申込用紙

◆講師：柴原 薫 氏【南木曾木材産業㈱ 代表取締役】

◆演題：『日本の林業の現状と未来』

■開 講：2011年11月12日（土） 午前10時40分～午後12時10分

■会 場：建労会館（松本市宮瀨本村1-2、TEL：0263-39-7200）

■受講料：無 料

| | | |
|---------------------------------------|--------|---|
| 申込者氏名 | | |
| 組合名 <small>※組合に所属し ていれば記入</small> | | |
| 連絡先 | 事業所名 | |
| | 住所 | 〒 |
| | TEL | |
| | FAX | |
| | E-mail | |
| 要望など | | |